

県立知念高等学校

学校だより 第10号



県新人陸上競技大会

棒高飛び1位 & 砲丸投げ2位

九州大会へ出場!



2年8組の上原心彩です。棒高跳びで1位になりました。コロナ禍で出来る練習に限られている中、1位になり、嬉しいのはもちろんですが、この大会で支えてくれたいろいろな方々の大切さを改めて感じる事が出来ました。今後は、まずは自己ベストを更新し、冬季で自分を見つめ直し、たくさん成長して来シーズンまでに2m50cmを目標に頑張ります。

2年6組の市木琉斗です。砲丸投げで2位になりました。自分の目標だった「3位以内入賞」と「自己ベスト」の更新をどちらも達成することができたので、充分満足出来る結果だと思えます。引退まで大会で毎回、自己ベストを更新し続け、全国大会までいけるように頑張りたいです。



「県高等学校新人体育大会」の「陸上競技」が9月24日から沖縄市にて開催され、本校2年8組の上原心彩さんが「女子棒高跳び」で見事「1位」となりました。また、「男子砲丸投げ」で2年6組の市木琉斗さんが「2位」となりました。二人は10月8日から宮崎県で開催される「九州大会」へ県代表として派遣されます。九州大会でも上位入賞を目指して頑張れ!

音楽コンテスト 声楽部門 金賞!

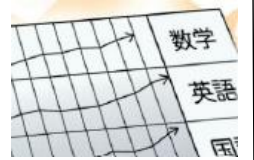


2年7組の前田詩菜です。声楽部門で金賞を受賞することができました。イタリア語独特の発音や息継ぎのタイミングなど、練習するべきことは沢山ありましたが、今回、このような形で結果を残すことができ、とても嬉しかったです。今回、失敗を恐れずに挑戦することの大切さに気づく良い機会となったため、今後にも活かしていきたいです。



「第49回沖縄県高等学校音楽コンテスト」が9月18日から開催され、本校から「木管楽器部門」、「金管楽器部門」、「打楽器部門」、「ピアノ部門」、「声楽部門」のそれぞれに出場しました。その結果、2年7組の前田詩菜さんが「声楽部門」にて「金賞」を受賞しました。出場した他の生徒たちは全員、「銀賞」となりました。

スタディ・サプリお試し!



10月~12月の3ヶ月間、スタディサプリ(株式会社リクルート)をお試しキャンペーンとして導入します。この期間に全校生徒、無料で5教科18科目、一流講師による40,000本の講義動画を自分の携帯・タブレット・パソコン等で視聴できます。小学校4年生から大学受験、難関国公立大学まで、全教科・全学年・全レベルに対応した講義がすべて見放題ですので、生徒の皆さんは「授業」と並行して、自分の苦手科目克服、あるいは実力養成等でドンドン活用して下さい。

今後の行事予定

- 10月
- 13日(水) 中間テスト1日目
2年生終了写真撮影
- 14日(木) 中間テスト2日目
1年生修了写真撮影
3年生アルバム撮影
- 15日(金) 第3回推戴式
- 18日(月) 教育実習(~29日)
- 19日(火) 消費者教育講演会(3年生)
- 21日(木) 中学生への学校説明会
- 22日(金) 情報処理検定試験
- 28日(木) 修学旅行保護者説明会(1年生)
- 29日(金) 平和集会
- 30日(土) 大学入試共通テスト模試
- 31日(日) 大学入試共通テスト模試

校長 お勧め本



「ドラゴン桜 第2シリーズ」
三田 紀房 著
(株式会社講談社)

内容は伝説の弁護士である桜木建二による「東大受験スポ根エンターテイメント」である。創世記となる前作「ドラゴン桜 第1シリーズ」の続編「第2シリーズ」です。TBS日曜劇場で放送されたドラマ「ドラゴン桜」でも話題となりました。大学受験合格に必要なさまざまな効率的な勉強法が紹介されています。図書館に第2シリーズの全17巻があります。Let's go!

沖縄女子短期大学と教育交流協定!

学校法人嘉数女子学園沖縄女子短期大学と沖縄県立知念高等学校との
高大連携事業に関する教育交流協定書 調印式



与那原町で唯一の大学と高校である、沖縄女子短期大学と本校との「高大連携事業に関する教育交流協定書」の調印式が9月10日に行われました。この協定は各々の教育の向上に資することを目的として、教育に関する情報交換、教育連携の研究、その他双方が協議、合意した教育交流事業を行うこととしています。これにより、大学の正規科目の開放や知念高校生を対象とする特別講座の開講、文化事業への参加・交流、授業等への教職員の派遣等を行うことができます。

名言・名句

The man who has no imagination has no wings.

想像力のない奴に、翼は持てない。

【解説】

これは世界ヘビー級王座を3度奪取、人種差別と戦い、ベトナム戦争への徴兵拒否など社会的にも注目を集めたアメリカの元プロボクサーであったモハメド・アリの言葉です。



不合格体験記 ①

今年の春、希望する大学に不合格となり、浪人することになった。周囲の友人らの合格報告を聞くと嬉しい反面、とても悔しい思いで一杯であった。私が不合格だった理由は一つ、「悪い意味で」私は自分に優しすぎたからだ。不合格となった今、冷静に受験生活を振り返ってみると、さんたんたるものであった。部活で疲れ、身体が壊れないようにと勉強もせず寝る。部活や委員会の仕事がなく、ようやく勉強に手をつけても、すぐに「心の休養」として散歩をしたり、テレビを見始めていた。その結果、浪人生となり、社会的には無職で、また、親にも多大なる費用をさせるという全く自分だけでなく、他人にも優しくないものとなった。真の意味で自分に優しくというのは、せつな的な快楽を求めるのではなく、多少辛くても、将来のことを考えて、やるべき時にやることをやるというのだと、今になって気づいた。昨年の二の舞には絶対にならないようにする。真の意味で自分に優しい人間になりたい。 県外男子生徒



校長の独り言

本号でも紹介している「スタディサプリ」であるが、10月から3ヶ月間、お試しキャンペーンとして本校に導入した。職員・全校生徒でまず講義動画を視聴して、その活用状況が良ければ、次年度から本格導入をする予定である。同講義動画は、小学校4年生から大学受験、難関国公立大学対策までの全学年・全教科・全レベルに対応した4万本の動画である。私も英語・日本史・古典の動画を何本か視聴したが、各動画には丁寧なテキストと分かりやすい解説、また理解できなかったかどうかの確認テストがある。自分の苦手科目の克服や逆に得意科目にさらに磨きをかけるためのハイレベルの講座もある。生徒の皆さんには「授業」と並行して大いに活用して欲しいものである。